

新庁舎建設基本構想・基本計画 策定委員会ニュース 第9号 (2020.9.15 発行)

《第9回策定委員会の概要》

令和2年9月9日(水)に開催した第9回策定委員会は前回と同様、1か所に集まらない「Web会議」として開催しました。

今回は新庁舎建設検討の核となる「規模と施設計画」についてを議題とし、事務局からの説明後、意見交換を行いました。

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1 開会 | 【次第】 |
| 2 委員長挨拶 | |
| 3 新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の内容検討「規模と施設計画」 | |
| 4 その他 | |
| 5 閉会 | |

1. 規模

規模検討の方向性

今後、区の人口・職員数の減少が想定される一方、本庁舎は行政・防災の中核であることが求められるゆとりをもって計画することで用途に応用を利かせ、社会構造の変化に応じた可変的な庁舎としていく都市計画条件や周辺環境に配慮しながら、敷地に建設し得る最大規模の施設を計画していく

委員からの主な意見

建物は大きく計画し、将来変化にも対応できることが大切
災害対策本部はゆとりをもって適切にスペースを確保すべき
駐車場や駐輪場は、庁舎利用以外の利用者への対策が必要
上下段式の駐輪ラックは利用しにくい面があるため、利便性にも配慮し平面駐輪が可能なスペースを確保すべき
働き方や社会状況の変化に対し、定めた規模が適切であるか、その都度見極めていくことが重要



2度目の開催となったWeb会議

2. 施設計画

施設計画(空間構成)の方向性

地上にゆとりある空間を設けるため、駐車場は地下も活用(水害に備えた防水扉などの設置も検討)
水害発生後も継続して業務が行えるように、窓口・執務スペースなどの行政機能は1階に置かない
区民利用が多い窓口を2・3階に配置するとともに、駐車場を同フロアの横に設け利便性向上を図る
関連性の高い部署は近接して配置することで、誰にとっても分かりやすく利用しやすい計画とする
執務空間にはバックヤードを設け、打合せや休憩などスペースを多目的に利用する

委員からの主な意見

地下も有効に活用していくという方向性は良い
2・3階で来庁者の主な目的を達成できるということや、同階の駐車場から横移動できる仕組みはとてもよい
検討する上で騒音や臭気等、目に見えないものにも配慮することが大切
感染症予防として、待合スペースや出入口は適切な広さを確保すべき
バックヤードはクリエイティブな場所として有効に活用されるべき



感染症対策として「3密」を回避

《第10回開催の予定》

日程：令和2年10月19日(月)13:30～
内容：建設手法・財源など
次回もWeb会議による開催を予定



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ(左の二次元コード)をご覧ください。

発行：新庁舎・大型施設建設推進室
新庁舎建設推進担当課
電話：03-5662-2605